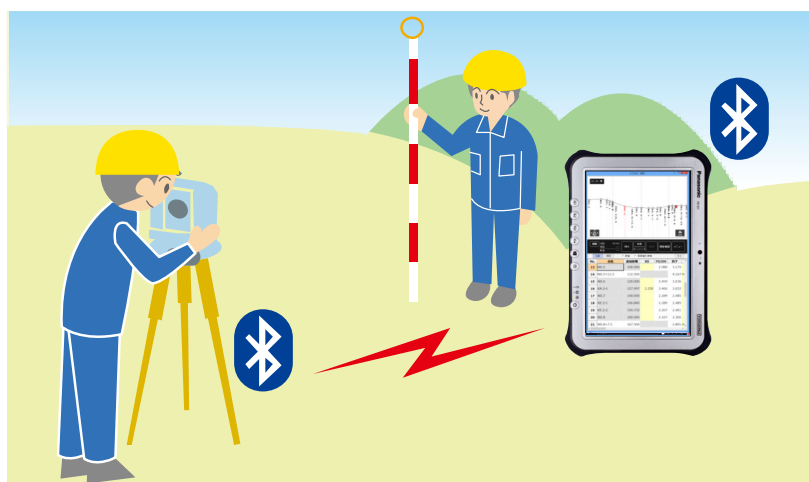


# 路線縦横断連携



Mercury-ONE

Mercury-ONEとTREND-FIELD  
の路線縦横断連携の操作を、簡単  
な入力例で解説しています。



TREND-FIELD



Mercury-ONE



※解説内容がオプションプログラムの説明である  
場合があります。ご了承ください。

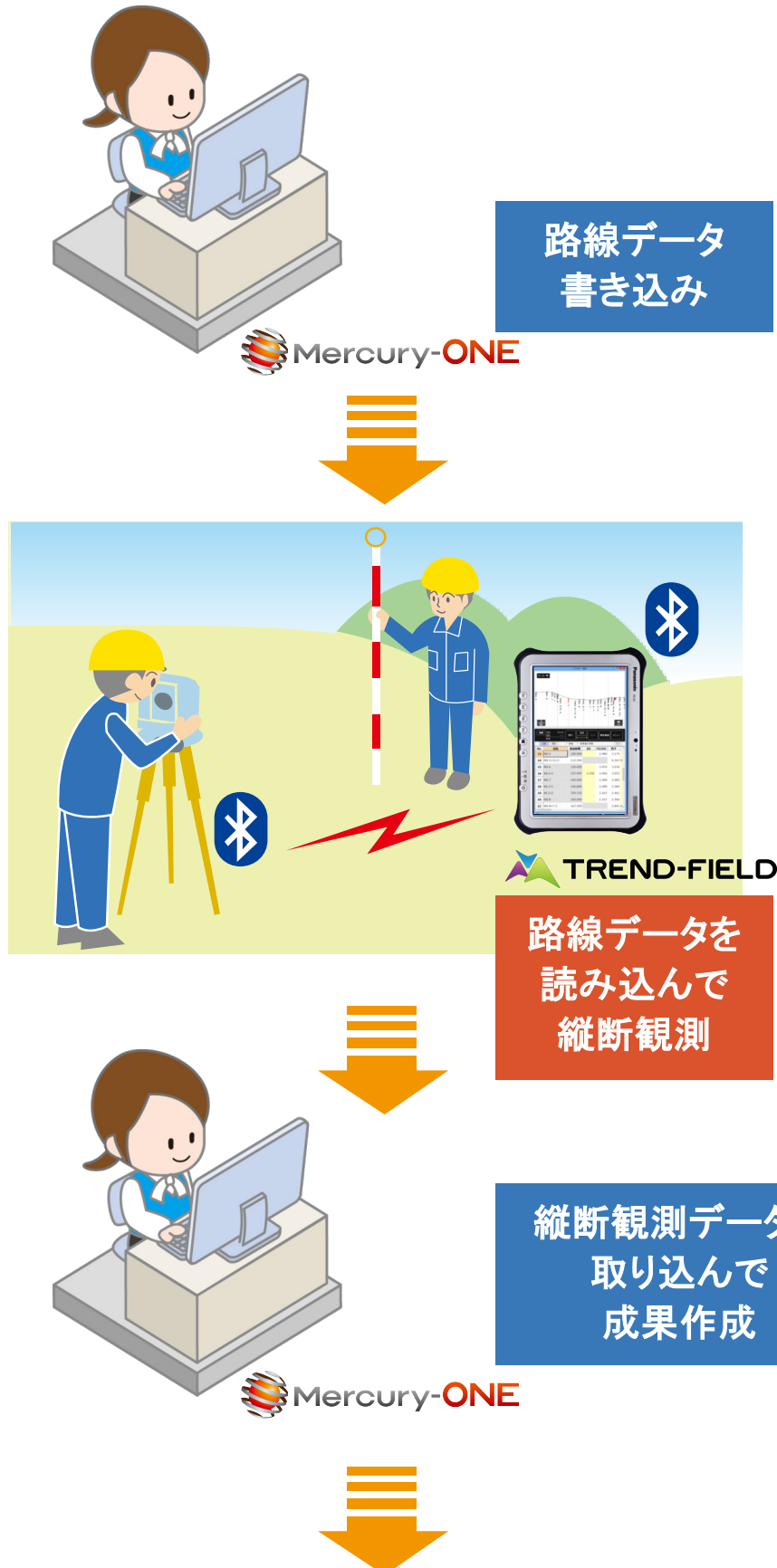
# 目次

## 路線縦横断連携

1. 路線縦横断連携(入力例)の流れ	1
2. 路線データの書き込み	3
2-1 路線データを書き込む	3
3. 縦断観測	4
3-1 路線データを読み込む	4
3-2 縦断観測を起動する	5
3-3 観測データを入力する	6
3-4 作業データを保存する	9
4. 縦断成果	10
4-1 TREND-FIELDで追加したプラス杭を取り込む	10
4-2 中間点を再計算する	11
4-3 座標を登録する	12
4-4 縦断観測データを取り込む	13
4-5 縦断成果を作成する	15
4-6 路線データを取り込む	16
4-7 座標を登録する	18
5. 路線データの書き込み	20
5-1 路線データを書き込む	20
6. 横断観測	21
6-1 路線データを読み込む	21
6-2 横断観測を起動する	22
6-3 TS観測をおこなう	24
6-4 作業データを保存する	25
7. 横断成果	26
7-1 横断観測データを取り込む	26
7-2 横断成果を作成する	29

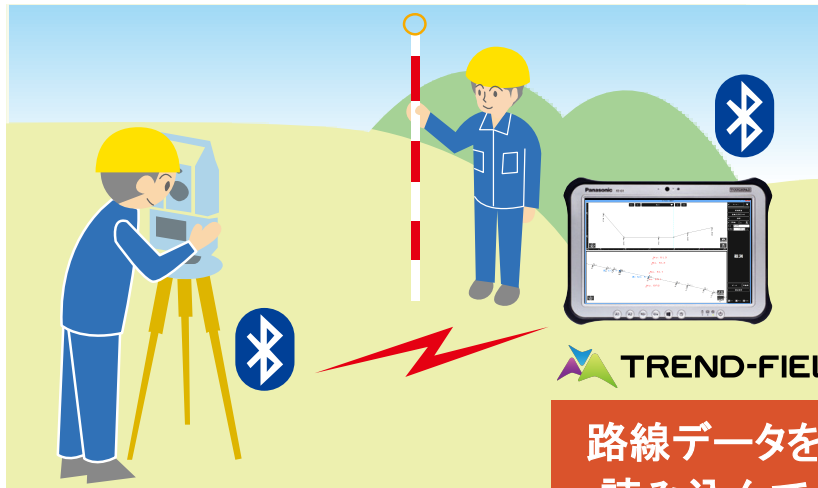
# 1 路線縦横断連携(入力例)の流れ

本書では、以下の流れで、Mercury-ONEとTREND-FIELDの路線縦横断連携の操作を解説します。





杭高をプラスした  
路線データ書き込み



路線データを読み込んで  
横断観測



横断観測データを  
取り込んで  
成果作成



# 2 路線データの書き込み

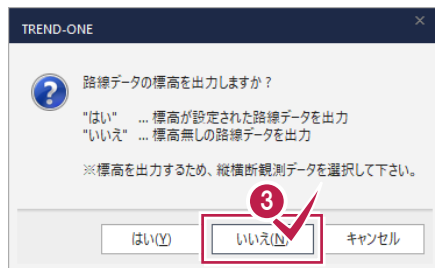
ONEの路線測量で作成した路線データを、TREND-FIELDで読み込めるデータ(xrf)としてファイルに書き込みます。

## 2-1 路線データを書き込む

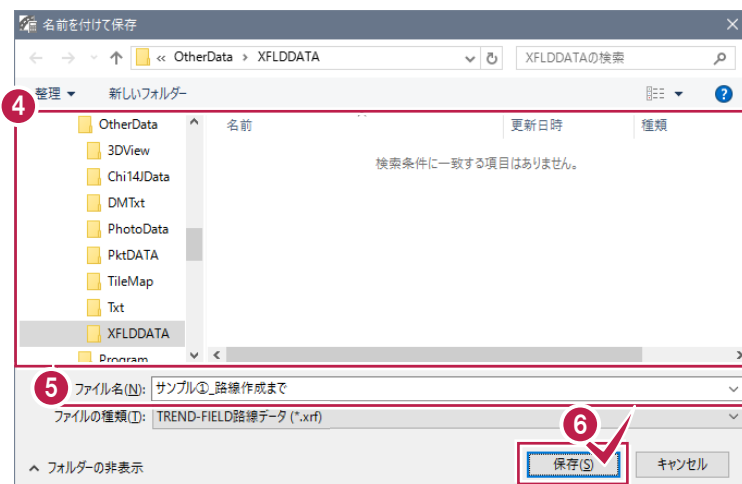
路線データを書き込みます。



- 1 路線測量の[路線計画]ステップをクリックします。
- 2 [路線計画]タブ-[データ書き込み]グループ-[外部ファイル] - [TREND-FIELD・XYCLONE路線データ]をクリックします。
- 3 ここでは、標高無しの路線データを出力するので、[いいえ]をクリックします。



- 4 保存先を指定します。
- 5 ファイル名を入力します。
- 6 [保存]をクリックします。

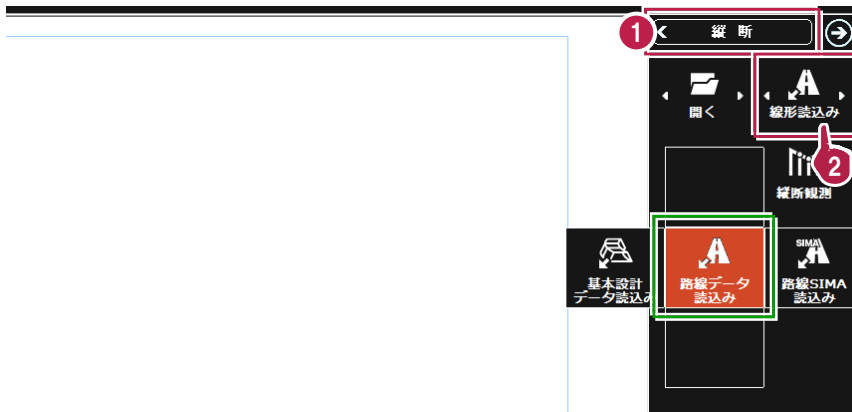


# 3 縦断観測

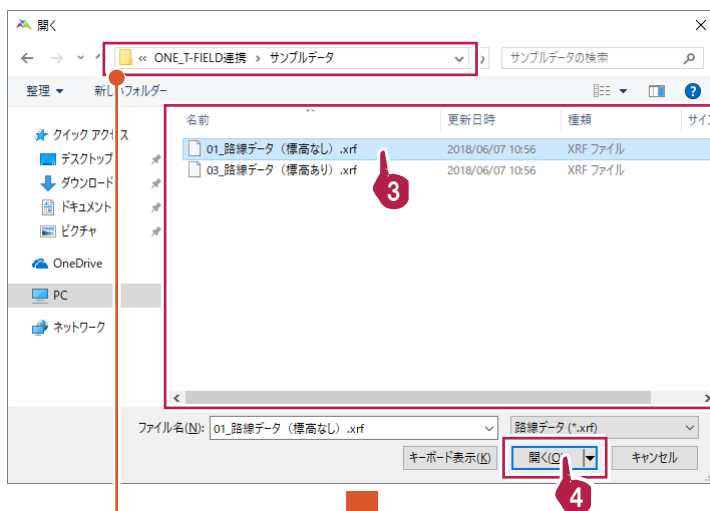
TREND-FIELDで、ONEの路線データを読み込んで、縦断観測をおこないます。

## 3-1 路線データを読み込む

ここでは、サンプルの路線データ「01\_路線データ(標高なし).xrf」を読み込みます。

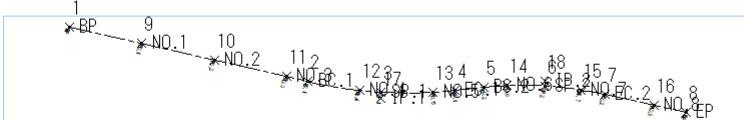


- 1 TREND-FIELDの観測パネルで、[縦断]を選択します。
- 2 [線形読み込み]をフリックして、[路線データ読み込み]を選択します。



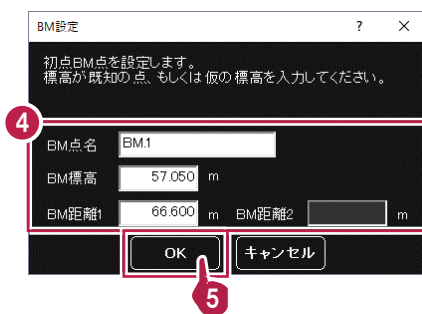
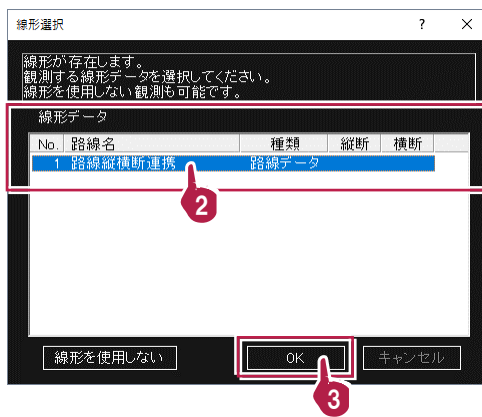
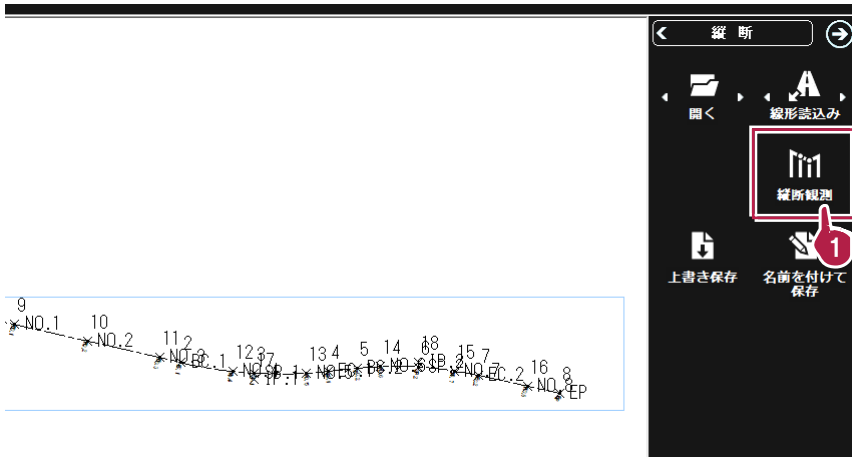
- 3 読み込む路線データのファイルをタップします。
- 4 [開く]をタップします。

サンプルデータは、[ヘルプ]メニュー-[マニュアル]からダウンロード可能です。



## 3-2 縦断観測を起動する

縦断観測を起動します。



1 [縦断観測]をタップします。

2 観測する線形データをタップします。

3 [OK]をタップします。

4 BM点名、BM標高、BM距離1を入力します。

5 [OK]をタップします。

### 3-3 観測データを入力する

観測データを入力します。

No.	点名	追加距離	BS	FS/DH	杭下	構造物等
1	BM.1		3.013			
2	BP	0.000				



No.	点名	追加距離	BS	FS/DH	杭下	構造物等
1	BM.1		3.013			
2	BP	0.000		3.208	3.321	
3	NO.1	20.000		3.087	3.172	
4	NO.2	40.000		2.583	2.696	
5	NO.2+5.2	45.200		2.563	2.676	
6	NO.2+6.7	46.700			3.679	HPφ300
7	NO.2+13.2	51.700			3.670	HPφ300
8	NO.2+14.8	54.800		2.555	2.671	
9	NO.3	60.000	3.602	2.469	2.572	
10	BC.1	65.977		3.429	3.558	
11	NO.4	80.000		2.890	2.973	
12	SP.1	85.912		2.669	2.791	
13	NO.5	100.000	3.690	1.709	1.872	
14	EC.1	105.846		3.182	3.232	
15	BC.2	113.667		2.672	2.795	
16	NO.6	120.000		2.428	2.583	
17	SP.2	130.095		2.310	2.772	
18	NO.7	140.000		2.092	2.203	
19	EC.2	146.523		2.025	2.166	
20	NO.7+15.200	155.200			3.355	BOX400×400
21	NO.8	160.000		2.051	2.173	
22	EP	168.916		2.159	2.317	
23	BM.2			0.830		
24						

1 初点BMのBSを入力します。

2 往路の観測データを入力します。

Check

縦断観測の観測データ入力の詳細は、マニュアル「縦断観測」を参照してください。



往路、復路の標高値、較差が表示されます。  
[制限]で往復の標高差の制限を設定できます。

制限 往路 57.050 復路 57.047 較差 0.003

精度確認 メニュー

往路 復路

No.	点	追加距離	BS	FS/DH	杭下	構造物等
1	BM.2		1.902			
2	EP	168.916		3.237	3.364	
3	NO.8	160.000		3.126	3.251	
4	NO.7+15.200	155.200				BOX400×400
5	EC.2	146.523		3.096	3.229	
6	NO.7	140.000		3.163	3.309	
7	SP.2	130.095		3.386	3.812	
8	NO.6	120.000		3.505	3.672	
9	BC.2	113.667		3.744	3.892	
10	EC.1	105.846		4.253	4.402	
11	NO.5	100.000	1.502	4.764	4.892	
12	SP.1	85.912		2.467	2.619	
13	NO.4	80.000		2.682	2.821	
14	BC.1	65.977		3.224	3.397	
15	NO.3	60.000	2.219	3.396	3.518	
16	NO.2+14.8	54.800		2.308	2.456	
17	NO.2+13.2	51.700				HPφ300
18	NO.2+6.7	46.700				HPφ300
19	NO.2+5.2	45.200		2.311	2.378	
20	NO.2	40.000		2.333	2.481	
21	NO.1	20.000		2.837	2.999	
22	BP	0.000		2.957	3.092	
23	BM.1			2.766		

3 往路の観測データの入力を終了したら、[復路]をタップします。

4 復路の観測データを入力します。

[精度確認]で精度を確認することもできます。

精度確認

No.	区間名	状態	往復観測差
1	BM1 ~ BM2	結合	0.006 m

観測距離 S 0.213 km  
許容範囲 3級 1.00 mm√S  
較差制限値 4 mm  
既知高低差との閉合差 往 復 mm

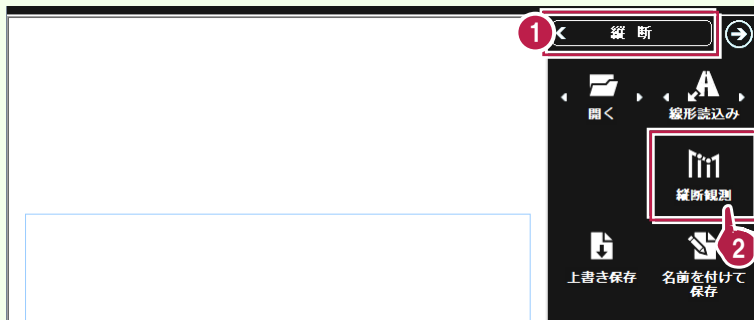
TP間の観測差 往復平均結果

No.	点名	追加距離	往路高低差	復路高低差	往復差
1	BM.1				
2	BP	0.000			
3	NO.1	20.000			
4	NO.2	40.000			
5	NO.2+5.2	45.200			
6	NO.2+6.7	46.700			
7	NO.2+13.2	51.700			
8	NO.2+14.8	54.800			
9	NO.3	60.000	0.544	-0.547	-0.003
10	BC.1	65.977			
11	NO.4	80.000			

閉じる

## 電子レベルと接続して、電子レベルの観測データを取り込む

電子レベルと接続して、電子レベルの観測データを取り込むこともできます。



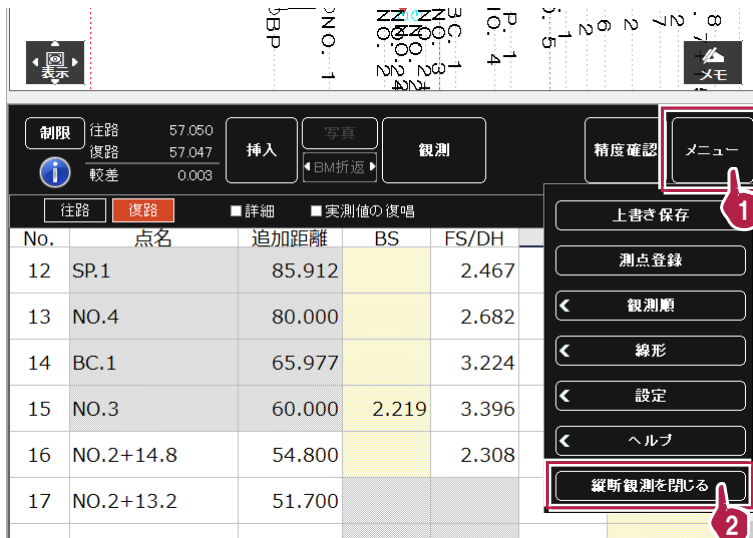
No.	点名	追加距離	BS	FS/DH
1	BM.1		3.013	
2	BP	0.000		3.208

観測値が取り込まれます。

- 1 [縦断]を選択します。
- 2 [縦断観測]をタップします。
- 3 [メニュー]をタップします。
- 4 [設定]をタップします。
- 5 [観測条件設定]をタップします。
- 6 接続機種や通信条件を設定します。
- 7 [OK]をタップします。
- 8 観測するセル([BS][FS/DH][杭下])を選択します。
- 9 [観測]をタップします。

## 3-4 作業データを保存する

観測データの入力を終了したら、作業データを保存します。



- 1 [メニュー]をタップします。
- 2 [縦断観測を閉じる]をタップします。

- 3 [名前を付けて保存]をタップします。

- 4 保存先を指定します。

- 5 ファイル名を入力します。

- 6 [保存]をタップします。

# 4 縦断成果

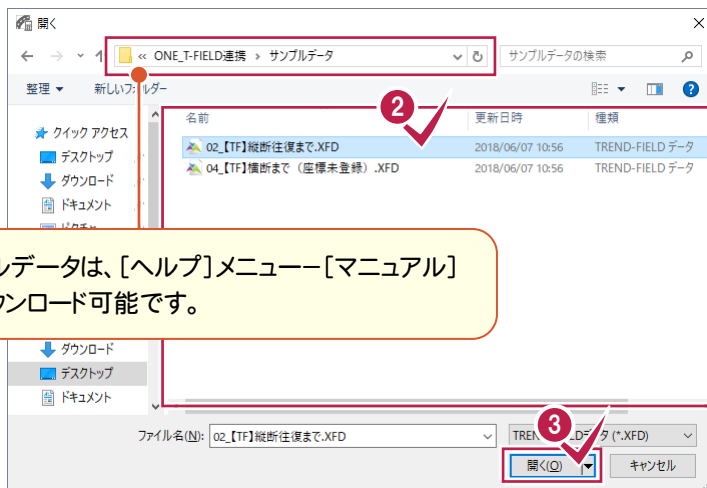
ONEで既存の路線データに、TREND-FIELDで追加したプラス杭と縦断観測データを取り込んで、縦断成果を作成します。

## 4-1 TREND-FIELDで追加したプラス杭を取り込む

ここでは、サンプルの TREND-FIELD データ「02\_【XF】縦断往復まで.XFD」から取り込みます。



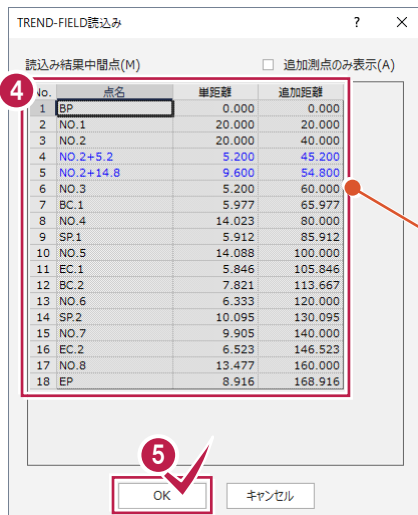
1 [路線計画]タブ-[データ読み込み]グループ-[自社連携]-[TREND-FIELDファイル]をクリックします。



サンプルデータは、[ヘルプ]メニュー-[マニュアル]からダウンロード可能です。

2 読み込むTREND-FIELDデータのファイルをクリックします。

3 [開く]をクリックします。



4 追加されたプラス杭を確認します。

5 [OK]をクリックします。

追加された測点が青色で表示されます。

## 4-2 中間点を再計算する

中間点を再計算します。



1 [路線計算]グループ-[中間点表示]をクリックします。

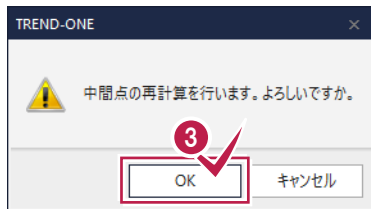


No.	点番	点名	杭No	+距離	単距離	実際の追加距離	ブレーキ	X座標	Y座標	接線方向角	登録
1	1 BP		0	0.000	0.000	0.000		-57225.641	-21554.367	102.5642	
2	102 NO.1		1	0.000	20.000	20.000		-57230.121	-21534.875	102.5642	○
3	103 NO.2		2	0.000	20.000	40.000		-57234.602	-21515.384	102.5642	○
4		NO.2+5.2	2	5.200	5.200	45.200		-57235.766	-21510.316	102.5642	○
5		NO.2+14.8	2	14.800	9.600	54.800		-57237.917	-21500.960	102.5642	○
6			3	0.000	5.200	60.000		-57239.082	-21495.892	102.5642	○
7	105 BC.1		3	5.977	5.977	65.977		-57240.421	-21490.067	102.5642	○
8	106 NO.4		4	0.000	14.023	80.000		-57242.757	-21476.248	96.1458	○
9	107 SR1		4	5.912	5.912	85.912		-57243.256	-21470.358	93.2536	○
10	108 NO.5		5	0.000	14.088	100.000		-57243.271	-21456.278	86.4201	○
11	109 EC.1		5	5.846	5.846	105.846		-57242.793	-21450.451	83.5431	○
12	110 BC.2		5	13.667	7.821	113.667		-57241.963	-21442.675	83.5431	○
13	111 NO.6		6	0.000	6.333	120.000		-57241.490	-21436.361	87.3214	○
14	112 SR2		6	10.095	10.095	130.095		-57241.566	-21426.270	93.1917	○
15	113 NO.7		7	0.000	9.905	140.000		-57242.628	-21416.427	98.5947	○
16	114 EC.2		7	6.523	6.523	146.523		-57243.858	-21410.021	102.4402	○
17	115 NO.8		8	0.000	13.477	160.000		-57246.829	-21396.875	102.4402	○
18	4 EP		8	8.916	8.916	168.916		-57248.794	-21388.179	102.4402	○

追加された杭には、まだ点番が付いていません。[再計算]を実行して、連番を振り直します。

2 [再計算]をクリックします。

3 確認のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。



4 振り直された点番を確認して、[OK]をクリックします。

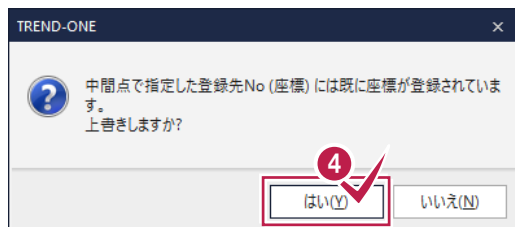


No.	点番	点名	杭No	+距離	単距離	実際の追加距離	ブレーキ	X座標	Y座標	接線方向角	登録
1	1 BP		0	0.000	0.000	0.000		-57225.641	-21554.367	102.5642	
2	102 NO.1		1	0.000	20.000	20.000		-57230.121	-21534.875	102.5642	○
3	103 NO.2		2	0.000	20.000	40.000		-57234.602	-21515.384	102.5642	○
4	104 NO.2+5.2		2	5.200	5.200	45.200		-57235.766	-21510.316	102.5642	○
5	105 NO.2+14.8		2	14.800	9.600	54.800		-57237.917	-21500.960	102.5642	○
6	106 NO.3		3	0.000	5.200	60.000		-57239.082	-21495.892	102.5642	○
7	107 BC.1		3	5.977	5.977	65.977		-57240.421	-21490.067	102.5642	○
8	108 NO.4		4	0.000	14.023	80.000		-57242.757	-21476.248	96.1458	○
9	109 SR1		4	5.912	5.912	85.912		-57243.256	-21470.358	93.2536	○
10	110 NO.5		5	0.000	14.088	100.000		-57243.271	-21456.278	86.4201	○
11	111 EC.1		5	5.846	5.846	105.846		-57242.793	-21450.451	83.5431	○
12	112 BC.2		5	13.667	7.821	113.667		-57241.963	-21442.675	83.5431	○
13	113 NO.6		6	0.000	6.333	120.000		-57241.490	-21436.361	87.3214	○
14	114 SR2		6	10.095	10.095	130.095		-57241.566	-21426.270	93.1917	○
15	115 NO.7		7	0.000	9.905	140.000		-57242.628	-21416.427	98.5947	○
16	116 EC.2		7	6.523	6.523	146.523		-57243.858	-21410.021	102.4402	○
17	117 NO.8		8	0.000	13.477	160.000		-57246.829	-21396.875	102.4402	○
18	4 EP		8	8.916	8.916	168.916		-57248.794	-21388.179	102.4402	○
19											
20											

点番が連番で振り直されます。

## 4-3 座標を登録する

座標を登録します。



1 [登録]グループ-[登録]をクリックします。

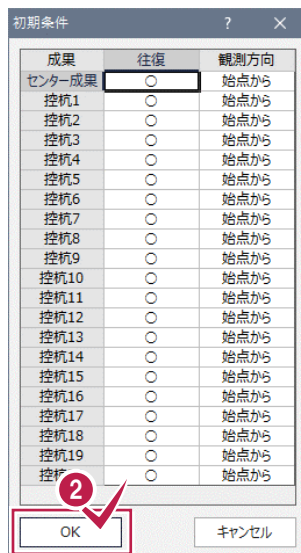
2 登録する座標を設定します。

3 [OK]をクリックします。

4 確認のメッセージが表示されますので[はい]をクリックします。

## 4-4 縦断観測データを取り込む

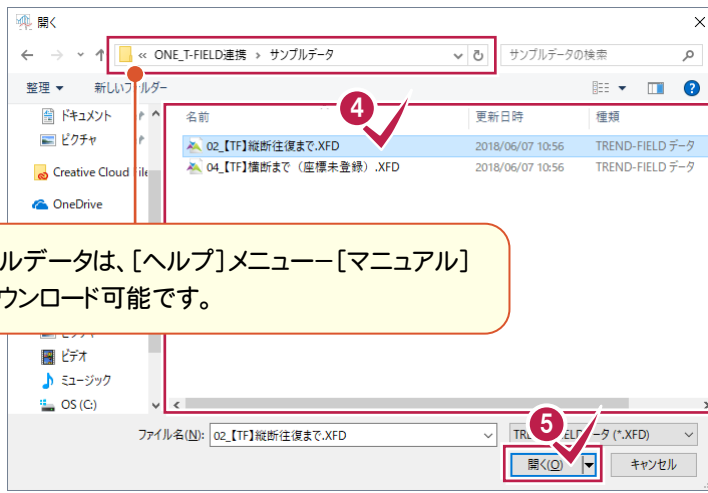
ここでは、サンプルの TREND-FIELD データ「02\_【XF】縦断往復まで.XFD」を取り込みます。



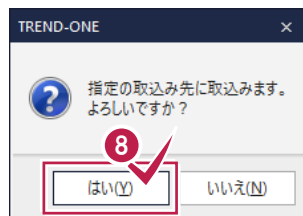
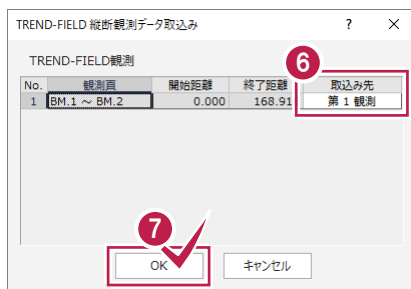
1 縦横断測量の[縦断野帳] ステージをクリックします。

2 初期条件を確認して、[OK]をクリックします。

3 [縦断野帳]タブ-[データ読み込み]グループ-[TREND-FIELD 縦断観測]をクリックします。



サンプルデータは、[ヘルプ]メニュー→[マニュアル]からダウンロード可能です。



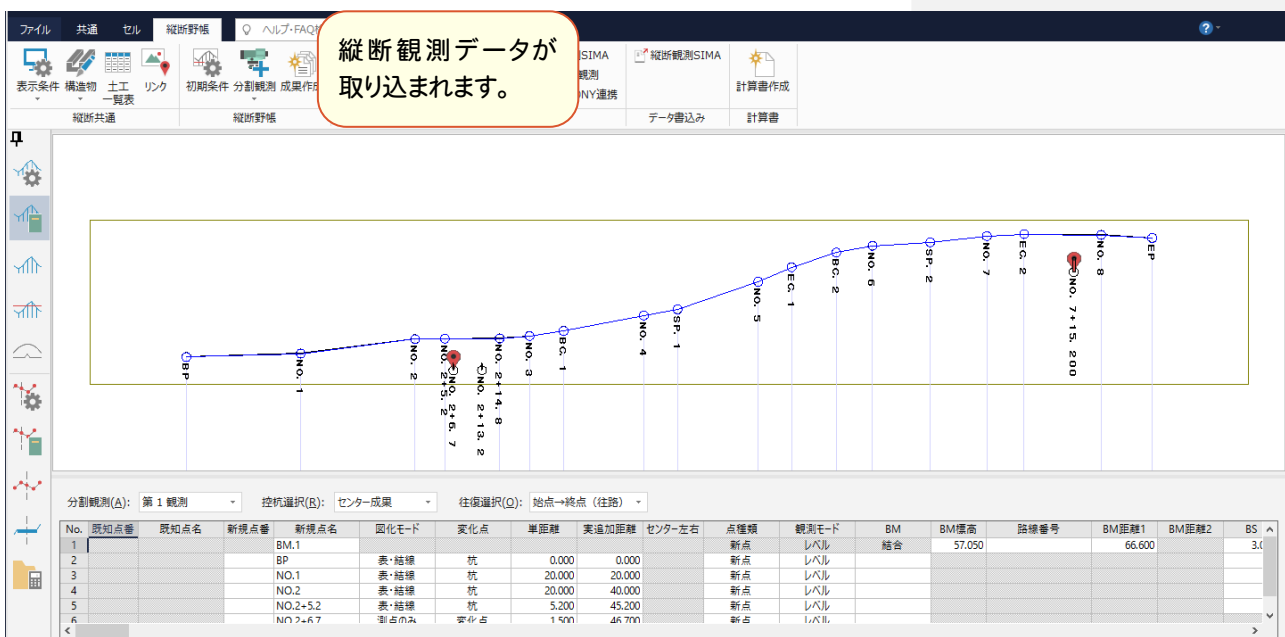
4 読み込むTREND-FIELDデータのファイルをクリックします。

5 [開く]をクリックします。

6 取り込み先を確認します。

7 [OK]をクリックします。

8 確認のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。





## 4-5 縦断成果を作成する

縦断成果を作成します。

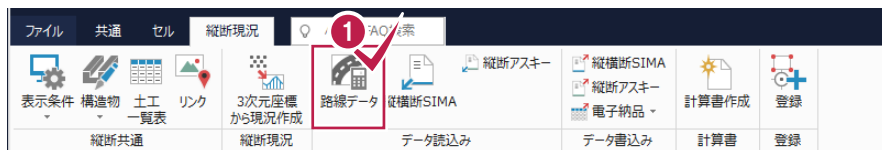


1 [縦断野帳]グループ-[成果作成]をクリックします。

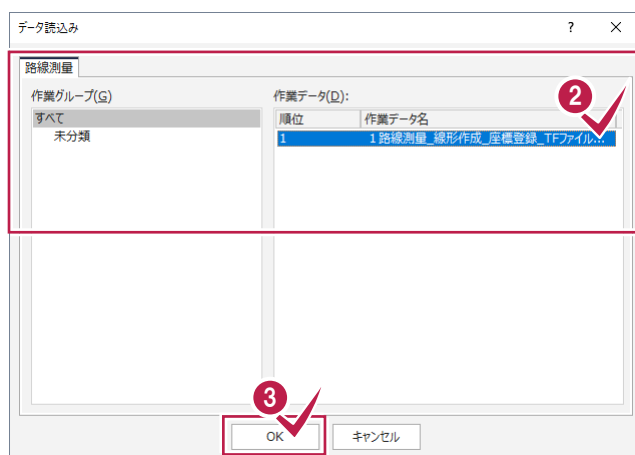


## 4-6 路線データを取り込む

作成した縦断成果に路線データを取り込みます。

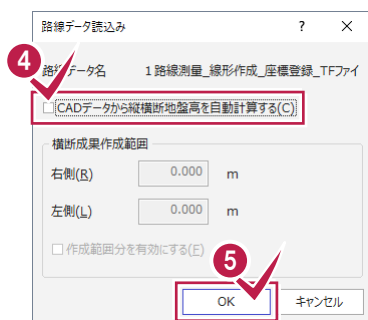


1 [縦断現況]タブ-[データ読み込み]グループ-[路線データ]をクリックします。



2 路線データをクリックします。

3 [OK]をクリックします。



4 [CADデータから縦横断地盤高を自動計算する]のチェックをクリックしてオフにします。

5 [OK]をクリックします。



既存データ上書き設定

すでに縦断成果データが存在します。上書き方法を指定してください。

**6**  測点名・追加距離が一致する測点の上書き(Q)

既存データの末尾に追加(A)

個別に指定(L)  旗上げをすべてクリア(E)

並べ替え設定

以下の条件に当てはまる測点に上書きするよう並べ替えます

追加距離が同じ(D)

測点名が同じ(M)  完全一致(E)  あいまい比較(Q)

初期化(L) 並べ替え実行(E)

既存データ		作成データ		
測点名	追加距離	測点名	追加距離	
1	BP	0.000	BP	0.000
2	NO.1	20.000	NO.1	20.000
3	NO.2	40.000	NO.2	40.000
4	NO.2+5.2	45.200	NO.2+5.2	45.200
5	NO.2+6.7	46.700	NO.2+14.8	54.800
6	NO.2+13.2	51.700	NO.3	60.000
7	NO.2+14.8	54.800	BC.1	65.977
8	NO.3	60.000	NO.4	80.000
9	BC.1	65.977	SP.1	85.912
10	NO.4	80.000	NO.5	100.000
11	SP.1	85.912	EC.1	105.846
12	NO.5	100.000	BC.2	113.667
13	EC.1	105.846	NO.6	120.000

既存データに新規測点挿入・削除(N) 作成データに新規測点挿入(N)

既存の縦断成果データに、測点名・追加距離が同じ測点のみ上書きします。  
上書きされた測点の、以下の既存データが消去されます。  
[点番]・[点名]・[図化モード]・[単距離]・[実追加距離]・[追加距離]

**7** OK



既存の路線データに杭高が設定されます。

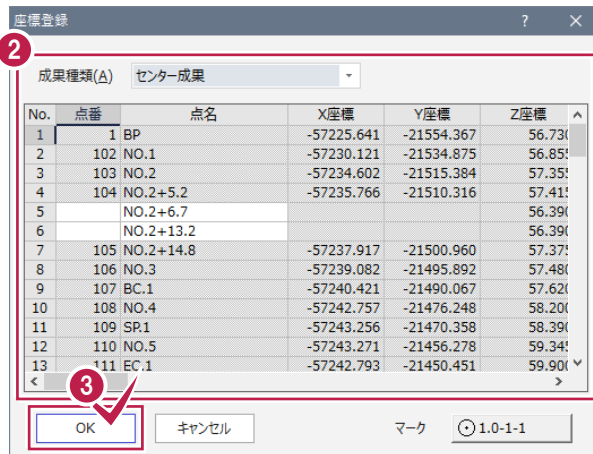
- 6** [測点名・追加距離が一致する測点に上書き]が選択されていることを確認します。
- 7** [OK]をクリックします。

## 4-7 座標を登録する

座標を登録します。

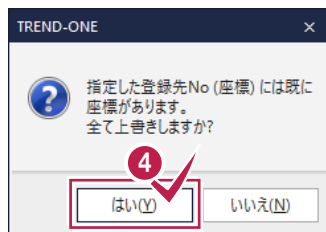


1 [登録]グループ-[登録]をクリックします。



2 登録する座標を確認します。

3 [OK]をクリックします。



4 確認のメッセージが表示されますので[はい]をクリックします。

## TREND-FIELDの縦断観測データに構造物や写真リンクが入力されている場合

TREND-FIELDの縦断観測データに入力されている構造物や写真リンクデータも取り込まれます。

No.	既知点種	既知点名	新視点名	新視点高さ	固定モード	変化点	単距離	実追加距離	追加距離	センター測点名	杭高	地盤高	センター左右	横断	点種類	横断移動量	構造物	リンク	備考
1	BP				表・結線		0.000	0.000	0.000	BP	56.858	56.73		なし	登録点A	0.00			
2	102	NO.1			表・結線		20.000	20.000	20.000	NO.1	56.978	56.86		なし	登録点A	0.00			
3	103	NO.2			表・結線		20.000	40.000	40.000	NO.2	57.482	57.36		なし	登録点A	0.00			
4	104	NO.2+5.2			表・結線		5.200	45.200	45.200	NO.2+5.2	57.503	57.42		なし	登録点A	0.00			
5			NO.2+6.7		測点のみ	○	1.500	46.700	46.700	NO.2+6.7		56.39		なし	新点	0.00	HPq300	○	
6			NO.2+13.2		測点のみ		5.000	51.700	51.700	NO.2+13.2		56.39		なし	新点	0.00	HPq300		
7	105	NO.2+14.8			表・結線		3.100	54.800	54.800	NO.2+14.8	57.509	57.38		なし	登録点A	0.00			
8	106	NO.3			表・結線		5.300	60.000	60.000	NO.3	57.596	57.48		なし	登録点A	0.00			
9	107	BC.1			表・結線		5.977	65.977	65.977	BC.1	57.769	57.62		なし	登録点A	0.00			
10	108	NO.4			表・結線		14.023	80.000	80.000	NO.4	58.309	58.20		なし	登録点A	0.00			
11	109	SR.1			表・結線		5.912	85.912	85.912	SR.1	58.527	58.39		なし	登録点A	0.00			
12	110	NO.5			表・結線		14.088	100.000	100.000	NO.5	59.489	59.35		なし	登録点A	0.00			
13	111	EC.1			表・結線		5.946	105.946	105.946	EC.1	59.999	59.90		なし	登録点A	0.00			
14	112	BC.2			表・結線		7.821	113.667	113.667	BC.2	60.509	60.38		なし	登録点A	0.00			
15	113	NO.6			表・結線		6.333	120.000	120.000	NO.6	60.750	60.59		なし	登録点A	0.00			
16	114	SR.2			表・結線		10.095	130.095	130.095	SR.2	60.869	60.43		なし	登録点A	0.00			
17	115	NO.7			表・結線		9.905	140.000	140.000	NO.7	61.089	60.96		なし	登録点A	0.00			
18	116	EC.2			表・結線		6.523	146.523	146.523	EC.2	61.156	61.02		なし	登録点A	0.00			
19			NO.7+15.200		測点のみ	○	8.677	155.200	155.200	NO.7+15.200		59.83		なし	新点	0.00	BOX400×400	○	
20	117	NO.8			表・結線		4.800	160.000	160.000	NO.8	61.128	61.01		なし	登録点A	0.00			
21	4	EP			表・結線		8.916	168.916	168.916	EP	61.019	60.88		なし	登録点A	0.00			
22			BM.2		表・結線					BM.2	62.350			なし	新点	0.00			
23																			
24																			

[構造物旗上げ]をクリックすると、構造物やBMに対して、旗上げを設定する画面に切り替わります。

TREND-FIELDの縦断観測データに入力されている構造物、写真リンクデータが取り込まれます。[リンク]セルをダブルクリックすると、リンクファイルを確認できます。

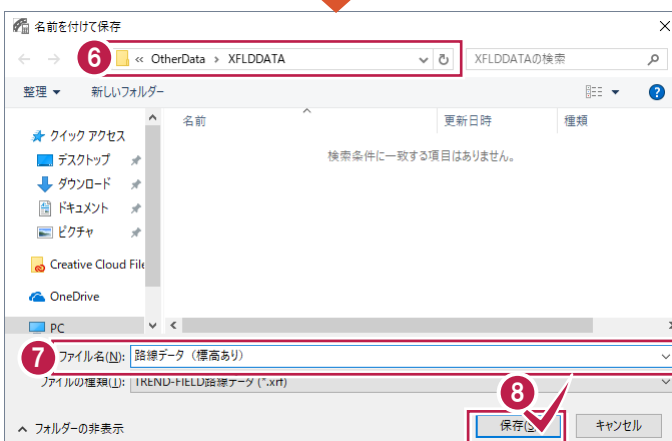
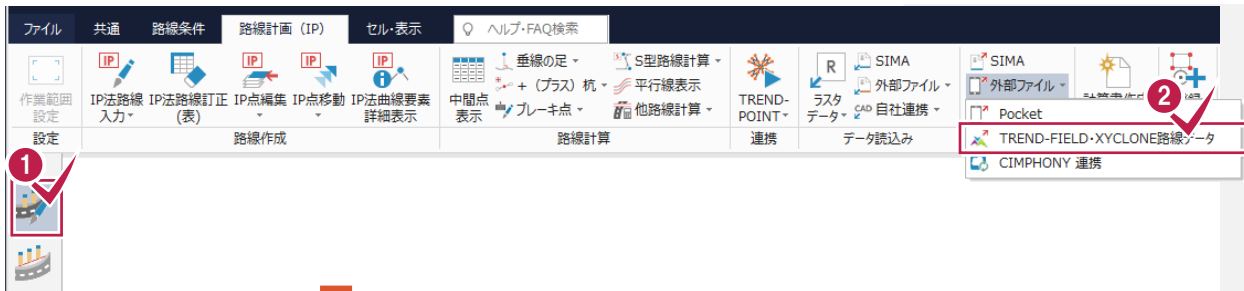
No.	追加距離	構造物	旗上げ	方向	終了追加距離	上文字	下文字	足文字左	足文字右	足文字左(終了側)	足文字右(終了側)	BM	BM名
1	46.700	HPq300	一本足	右		NO.2+6.7	HPq300	H=56.39m					
2	51.700	HPq300	一本足	右		NO.2+13.2	HPq300	H=56.39m					
3	155.200	BOX400×400	一本足	右		NO.7+15.200	BOX400	H=59.83m					
4	0.000												
5	168.916											○	BM.1
6												○	BM.2
7													
8													

# 5 路線データの書き込み

ONEの縦横断測量で杭高をプラスした路線データを、TREND-FIELDで読み込めるデータ(xrf)としてファイルに書き込みます。

## 5-1 路線データを書き込む

路線データを書き込みます。



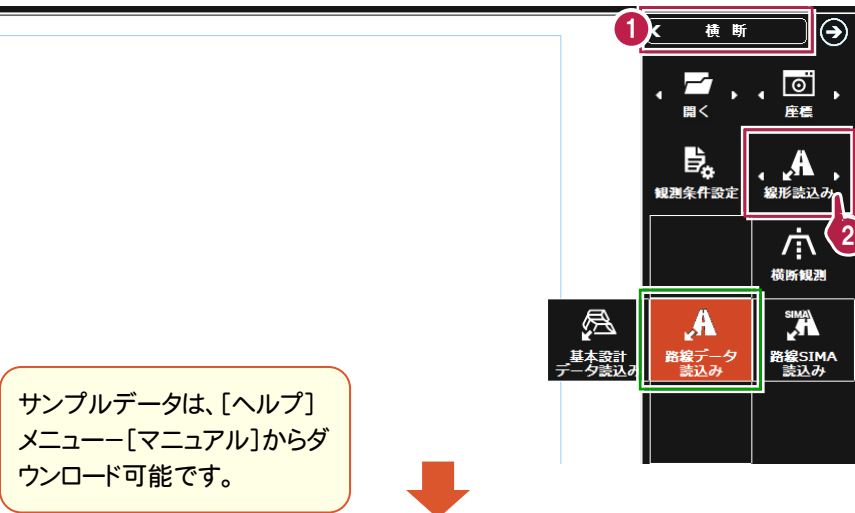
- 1 路線測量の[路線計画]ステージをクリックします。
- 2 [路線計画]タブー[データ書き込み]グループー[外部ファイル]ー[TREND-FIELD・XYCLONE路線データ]をクリックします。
- 3 ここでは、標高が設定された路線データを出力するので、[はい]をクリックします。
- 4 出力する路線データの標高が設定されている縦横断測量の作業データをクリックします。
- 5 [OK]をクリックします。
- 6 保存先を指定します。
- 7 ファイル名を入力します。
- 8 [保存]をクリックします。

# 6 横断観測

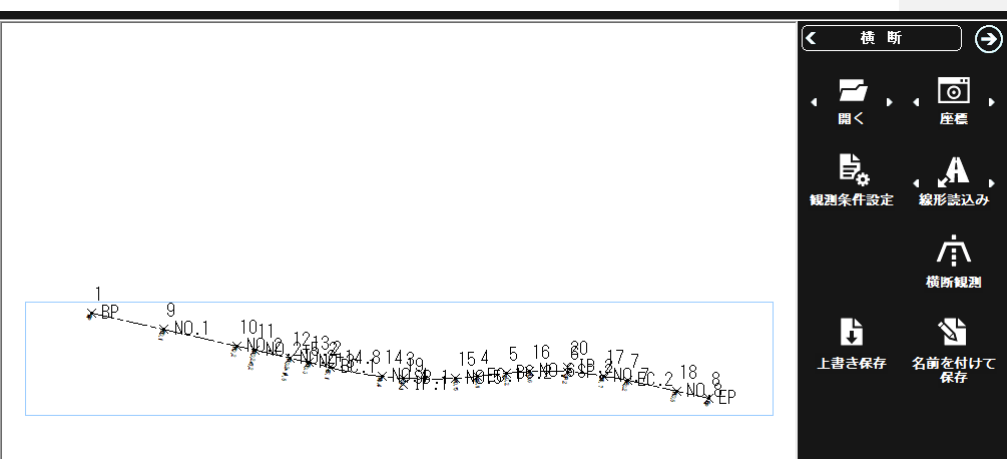

TREND-FIELDで、ONEの路線データを読み込んで、横断観測をおこないます。

## 6-1 路線データを読み込む

ここでは、サンプルの路線データ「03\_路線データ(標高あり).xrf」を読み込みます。



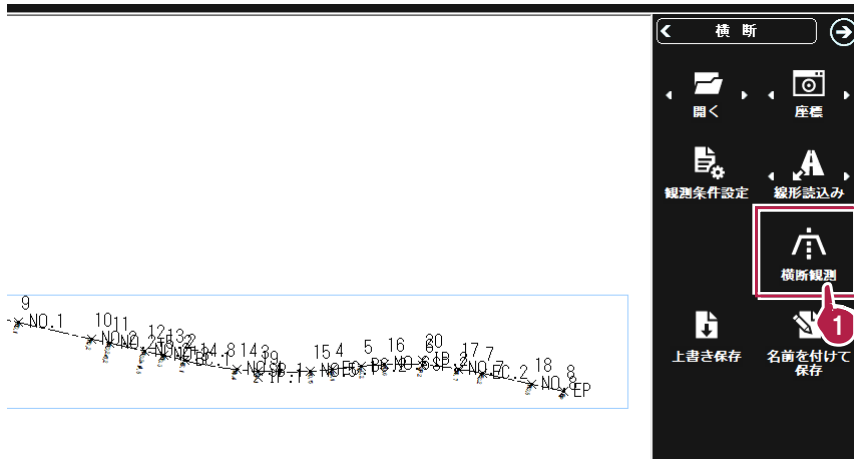
サンプルデータは、[ヘルプ]メニュー→[マニュアル]からダウンロード可能です。



- 1 TREND-FIELDの観測パネルで、[横断]を選択します。
- 2 [線形読み込み]をフリックして、[路線データ読み込み]を選択します。
- 3 読み込む路線データのファイルをタップします。
- 4 [開く]をタップします。

## 6-2 横断観測を起動する

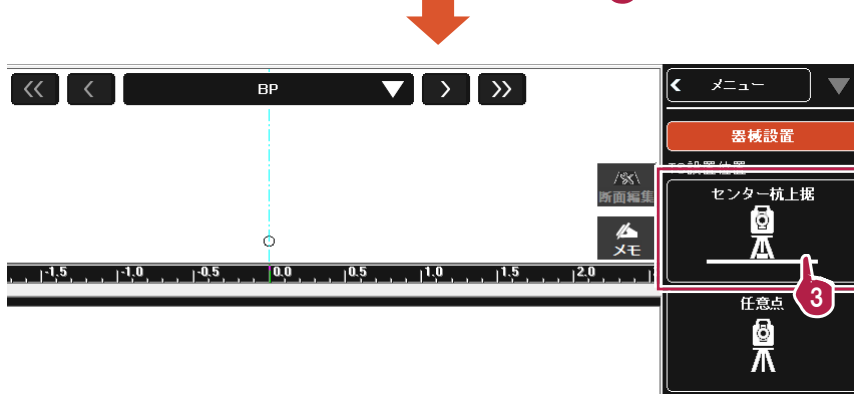
横断観測を起動します。



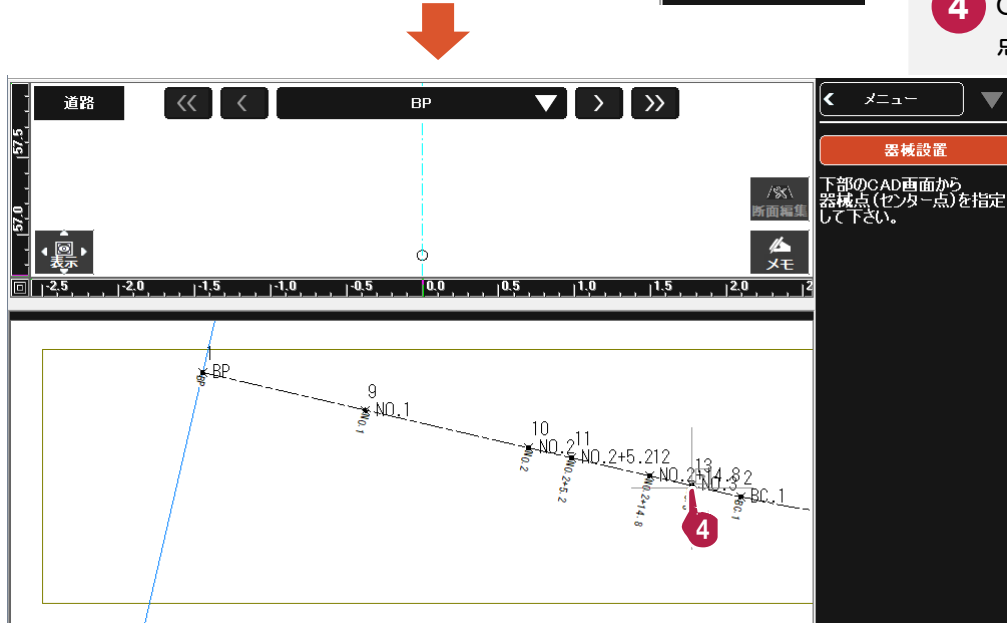
1 [横断観測]をタップします。



2 [線形+横断]をタップします。

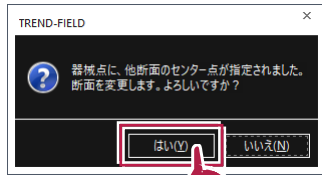


3 器械の設置位置を選択します。  
ここでは、[センター杭上据]を  
タップします。

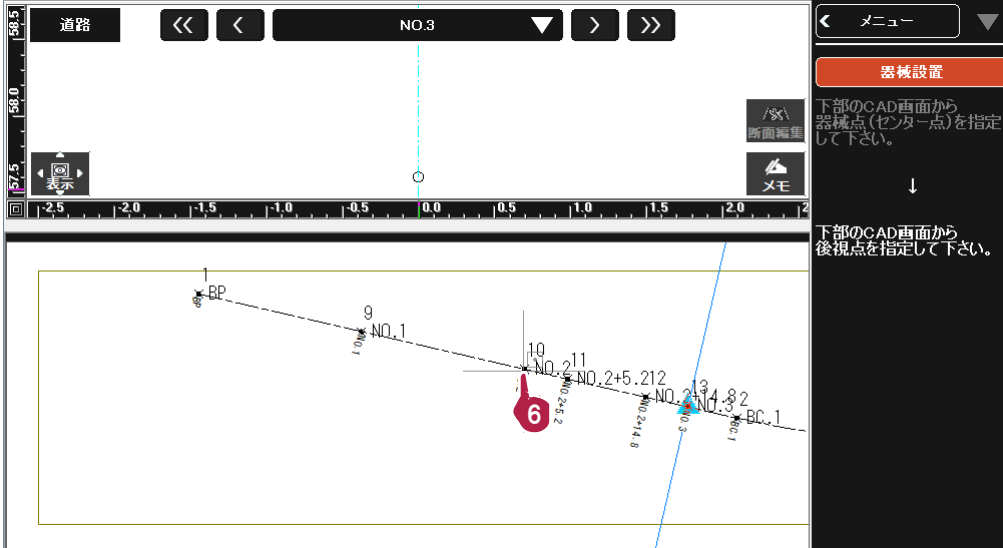


4 CAD画面上の測点から器械  
点をタップします。

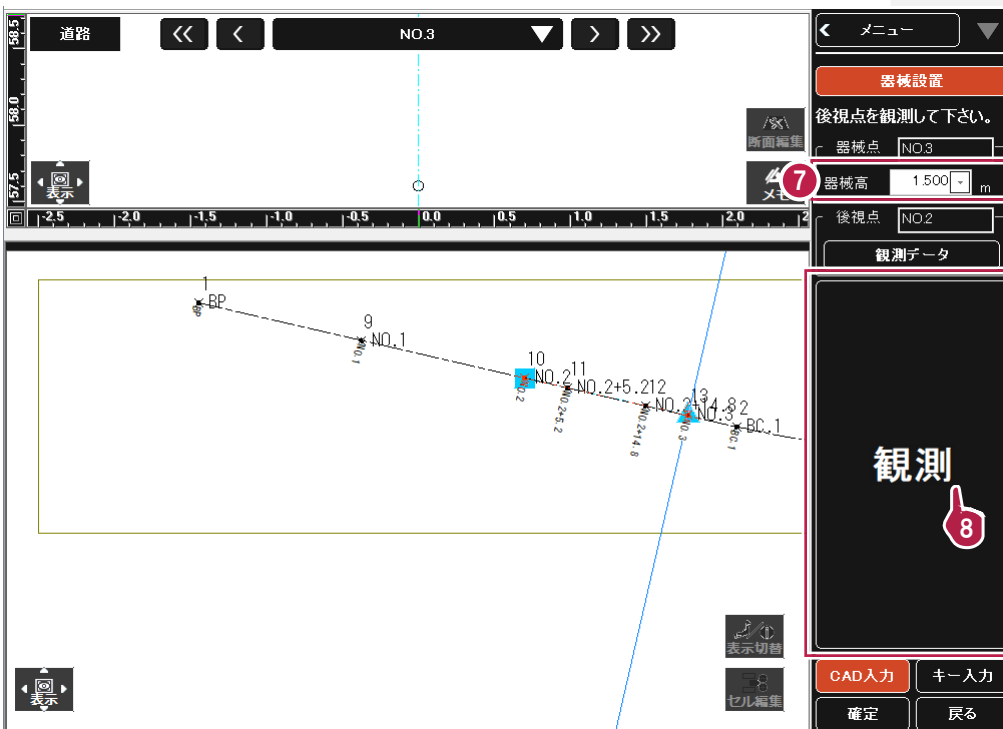




- 5** 初期値では先頭の断面が選択されています。  
[センター杭上据]で先頭以外のセンターを器械点に指定した場合は、断面変更のメッセージが表示されますので、[はい]をタップしてください。



- 6** CAD画面上の測点から後視点をタップします。

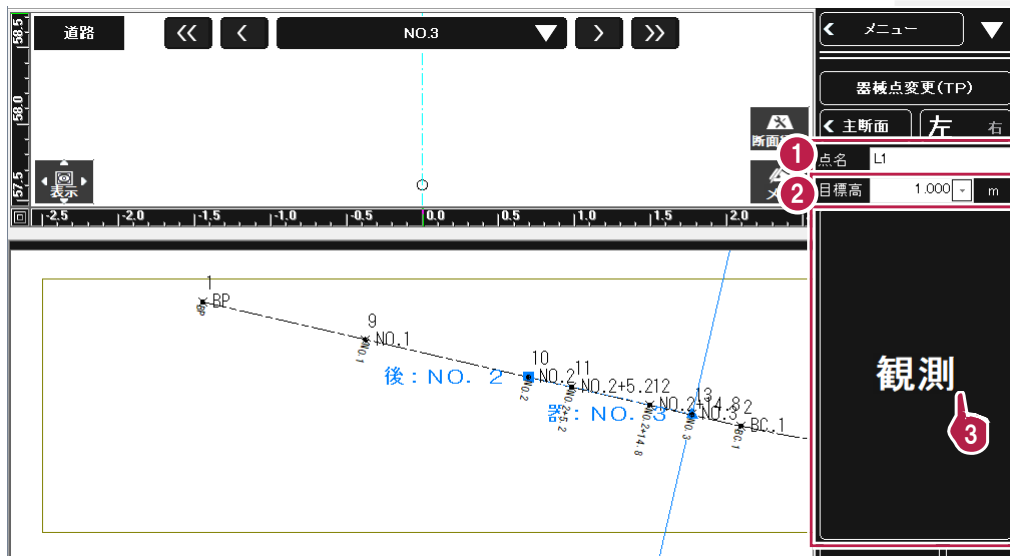


- 7** 器械高を入力します。

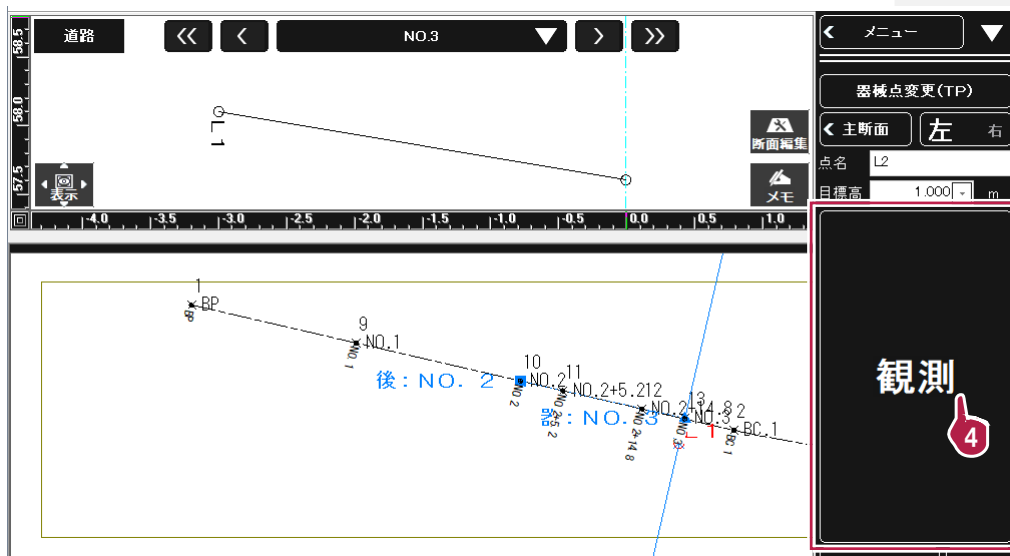
- 8** [観測]をタップして、後視点を観測します。

## 6-3 TS観測をおこなう

断面情報の設定と、器械の設置位置の設定を終了したら、トータルステーションで観測します。



- 1 視準点名を入力します。
- 2 目標高を入力します。
- 3 [観測]をタップして、視準点を観測します。



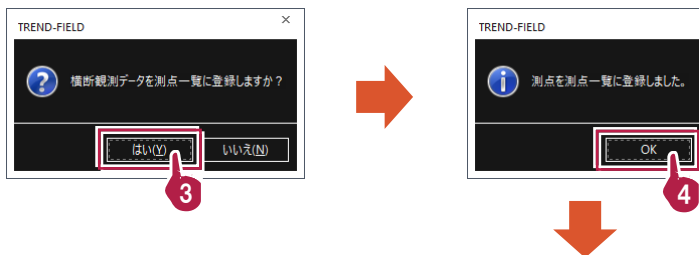
- 4 ①②③を繰り返して、視準点を順に観測します。  
このとき[目標高]には前観測の目標高が自動設定されます。  
[点名]には、前観測の測点名(末尾が数字の場合は連番)が自動で設定されます。

## 6-4 作業データを保存する

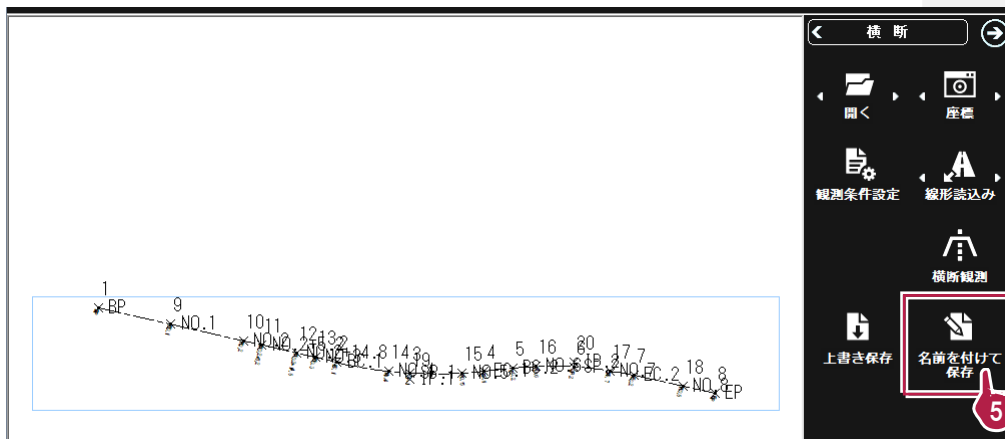
観測データの入力を終了したら、作業データを保存します。



- 1 [メニュー]をタップします。
- 2 [横断観測を閉じる]をタップします。



- 3 横断観測データを測点一覧に登録する場合は、[はい]をタップします。
- 4 [OK]をタップします。



- 5 [名前を付けて保存]をタップします。
- 6 保存先を指定します。
- 7 ファイル名を入力します。
- 8 [保存]をタップします。

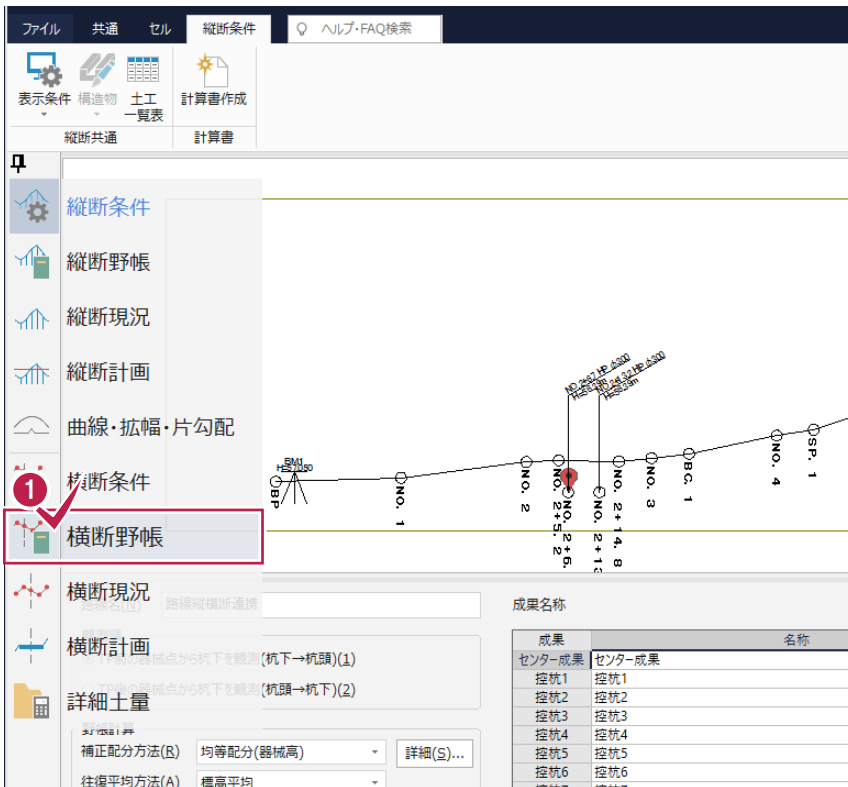


# 7 横断成果

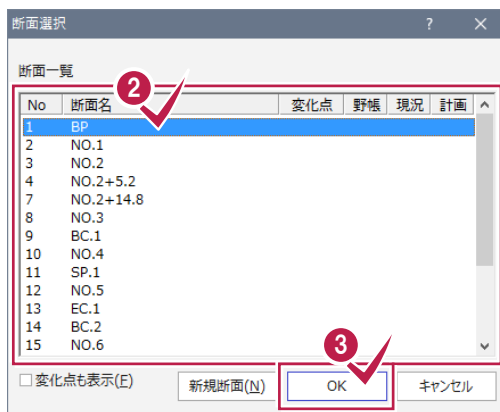
ONEに、TREND-FIELDの横断観測データを取り込んで、横断成果を作成します。

## 7-1 横断観測データを取り込む

ここでは、サンプルのTREND-FIELDデータ「04\_【XF】横断まで(座標未登録).XFD」を取り込みます。



1 縦横断測量の[横断野帳] ステージをクリックします。



2 断面を選択します。

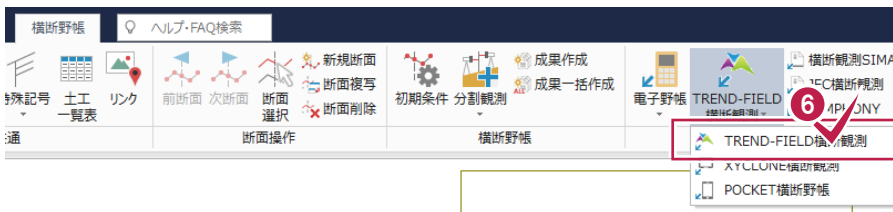
3 [OK]をクリックします。



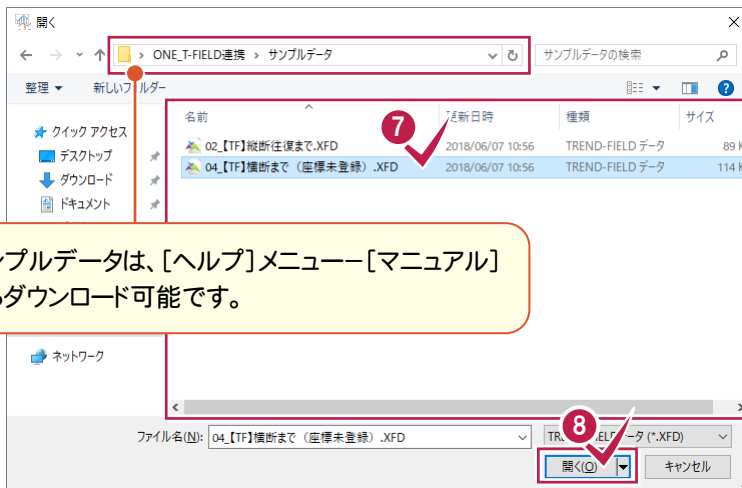


4 初期条件を設定します。

5 [OK]をクリックします。



6 [横断野帳]タブ-[データ読み込み]グループ-[TREND-FIELD横断観測]-[TREND-FIELD横断観測]をクリックします。



サンプルデータは、[ヘルプ]メニュー-[マニュアル]からダウンロード可能です。

7 読み込むTREND-FIELDデータのファイルをクリックします。

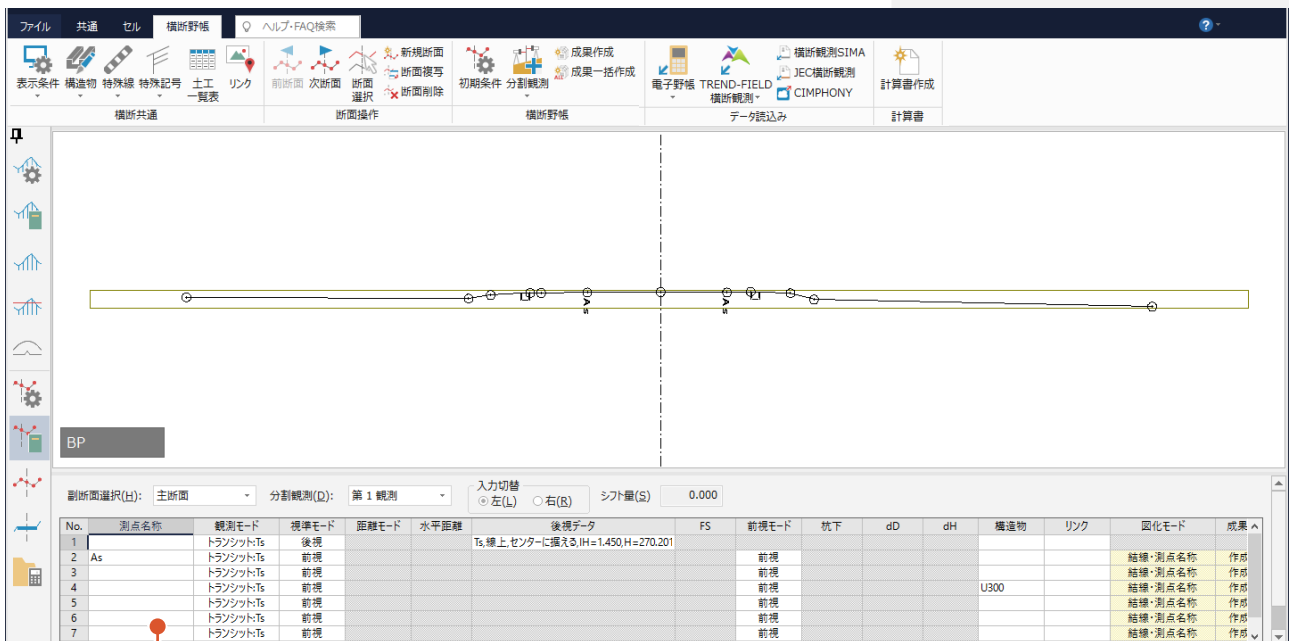
8 [開く]をクリックします。





9 TREND-FIELDの横断観測データを取り込むONEの断面を確認します。

10 [OK]をクリックします。



横断観測データが取り込まれます。

## 7-2 横断成果を作成する

縦断成果を作成します。



1 [横断野帳]グループ-[成果一括作成]をクリックします。



このスクリーンショットは、ソフトウェアのメインウィンドウを示しています。メニューバーには「ファイル」「共通」「セル」「横断野帳」があります。ツールバーには「表示条件」「構造物」「特殊線」「特殊記号」「土工一覧表」「リンク」「前断面」「次断面」「断面選択」「断面削除」「新規断面」「断面複写」「断面複写」「断面複写」「断面設定」「現場プロット」「水位線入力」「測点並べ替え」「平行移動量一括」「CAD数値化」「縦横断作業データ」「計算書作成」などのアイコンがあります。また、「データ読み込み」「計算書」のボタンも表示されています。中央には横断断面の図が描かれています。下部には「副断面選択(出): 主断面」のドロップダウンメニューと「入力切替」のラジオボタン（左(L)、右(R)）と「平行移動量(X)」の入力欄（0.000）があります。最下部にはデータテーブルが表示されています。

No.	測点名称	図化モード	距離	枕高	地盤高	構造物	リンク	1点線種	枕記号	境界記号	地層線	控え枕No	新点モード	既知点番	既知点名	X座標
1	As	結線・測点名称	3.101	56.713	56.71			x	x	x			新点			-57222.615
2		結線・測点名称	5.051	56.687	56.69			x	x	x			新点			-57220.718
3		結線・測点名称	5.520	56.691	56.69	U300		x	x	x			新点			-57220.261
4		結線・測点名称	7.190	56.598	56.60			x	x	x			新点			-57218.634
5		結線・測点名称	8.121	56.452	56.45			x	x	x			新点			-57217.728
6		結線・測点名称	20.063	56.410	56.41			y	y	y			新点			-57206.168